

臨床研究に関する情報公開

当院では、群馬大学医学部附属病院臨床試験審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究に関して、個人情報に関する点も含めご質問やお申出等がありましたら、以下の問合せ先へご照会ください。

【研究課題名】

去勢抵抗性前立腺癌に対するカバジタキセルおよびラジウム223の治療効果に関する多施設共同後ろ向き観察研究

【研究責任者、代表者の所属・職名・氏名】

研究責任・代表者

群馬大学大学院医学系研究科泌尿器科学

教授 鈴木 和浩

【研究の目的・方法】(対象となる患者さん、利用する試料、利用するカルテ情報等も含む)
対象となる患者さん：

2014年6月1日～2018年7月31日までに前立腺癌と診断されアンドロゲン除去療法を受けた方の中で、アンドロゲン除去療法に抵抗性である去勢抵抗性前立腺癌の状態となりカバジタキセルおよびラジウム223による治療を受けられた方。

利用する情報：

1) 診断時の臨床情報

性別、生年月日、年齢、身長、体重、診断時TNM分類情報、PSA値、病理所見(グリーソンスコア)

2) カバジタキセル治療に関する事項

① 開始前の情報

去勢抵抗性までの期間、ドセタキセル治療歴(施行コース、投与量mg/m²、総投与量)、ホルモン療法レジメン数

② カバジタキセル開始時の情報

血液・生化学データ、PSA値、治療開始日、転移部位の評価、全身状態

③ カバジタキセル治療中の情報

治療中のPSA値の推移、画像評価、骨髄抑制の評価、発熱性好中球減少の有無

④ カバジタキセル治療後の予後

最終観察日

生存・死亡:死亡の場合には、現病死・他病死

3) ラジウム223治療に関する事項

①開始前の情報

去勢抵抗性までの期間、去勢抵抗性になってからラジウム223までの治療歴

②ラジウム223開始時の情報

血液・生化学データ、PSA値、治療開始日、転移部位の評価、全身状態

③ラジウム223治療中の情報

治療中のPSA値の推移、ALP値の推移、骨代謝マーカーの推移、画像評価、骨髄抑制の評価

④ラジウム223治療後の予後

最終観察日

生存・死亡:死亡の場合には、現病死・他病死

【個人情報の取扱い】

研究成果は、学会や学術雑誌などで発表されますが、お名前、住所など患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。

【問合せ先】

群馬大学大学院医学系研究科泌尿器科

群馬大学医学部附属病院泌尿器科

職名： 群馬大学大医学部附属病院 泌尿器科 教授

氏名： 鈴木 和浩

連絡先： 027-220-8315